

令和5年度 第4回 岩村地域自治区運営協議会役員会 第3回 岩村地区WRC実行委員会

日 時 令和5年7月25日(火) 19時30分
場 所 岩村コミュニティセンター2階大会議室

1. はじめに
2. 会長あいさつ
3. 恵那市議会議員あいさつ
4. 岩村地域自治区運営協議会役員会議題
 - 1) 先人顕彰記念館について(生涯学習課) 資料1
 - 2) NEXT GIFU HERITAGE ~岐阜未来遺産~について(観光交流課) 資料2
 - 3) 国県要望について(8月22日要望) 資料3
 - 4) 避難所ルールについて 資料4
5. 岩村地区WRC実行委員会議題
 - 1) 出店場所及びパブリックビューイング設置場所について 資料5
 - 2) 岩村リエゾンエリア配置人数について
・駐車場係 ・道案内係 ・リエゾン警備係 ・その他
6. 報告事項等
 - 1) 市長と語るまちづくり懇談会の報告等について 資料6
 - 2) 恵那市の人口と出生数 資料7
 - 3) 本通り舗装対応について 資料8
 - 4) 国道257号線桜の伐採について 資料9
 - 5) 薪能について チラシ
 - 6) みのじのみのもり祭り、全国発酵食品サミット in えな出店について
全国発酵食品サミット IN えな販売出店について
7. その他

第5回岩村地域自治区運営協議会役員会
令和5年8月17日(木) 午後7時30分 岩村コミュニティセンター

先人顕彰拠点施設の整備について

生涯学習課

1. これまでの経緯

- (1) 岩村地域自治区運営協議会の提言（令和2年8月）を基に、旧岩村振興事務所を活用し、先人顕彰拠点施設として整備するよう検討を進めてきた。
- (2) 令和4年4月に、旧岩村振興事務所利活用検討委員会が設立され、先進施設の視察や佐藤一斎顕彰施設部分の方針をまとめていただいた。
- (3) 令和5年1月の岩村地域自治区運営協議会役員会で、旧岩村振興事務所の利活用の全体像を協議いただき、①佐藤一斎記念館、②各地域の先人紹介、③企画展示・多目的スペース、④観光案内、⑤図書・ライブラリー、⑥市史資料室・歴史資料収蔵を機能案とした。
- (4) 令和5年2月の岩村地域自治区運営協議会役員会で、施設のイメージデザインや機能配置、収入見込みを協議いただいた。運営方式について継続課題とした。
- (5) 恵那市議会一般質問やまちづくり懇談会を踏まえ、行財政改革の観点を持ち合わせた施設整備とするため、施設の整備内容や運営方式について検討し、施設の全体像について方針を整理した。

2. 先人顕彰施設の整備について

岩村地域自治区運営協議会からの提言及びこれまでの協議内容を尊重すると共に、行財政改革の観点を持ち合わせた整備とする。

(1) 整備内容

- ①旧岩村振興事務所を先人顕彰拠点施設として活用する。
- ②市内に点在する歴史資料の収蔵機能を集約する。
- ③岩村歴史資料館を移転集約する。

(2) 整備スケジュール（予定）

（先人顕彰拠点施設の整備、歴史資料の収蔵機能の集約）

令和5年10月～令和6年3月 実施設計（改修設計、展示設計）

令和6年4月～令和7年3月 整備工事（改修工事、展示施工）

令和7年3月予定 先人顕彰拠点施設オープン

（岩村歴史資料館の移転集約）

令和5年度～ 岩村歴史資料館の整備内容の検討

令和6年度 移転先スペースの基礎的な工事

令和7年度 展示設計

令和8年度 展示工事（内装工事）

令和9年3月予定 岩村歴史資料館リニューアルオープン

(3) 運営方式

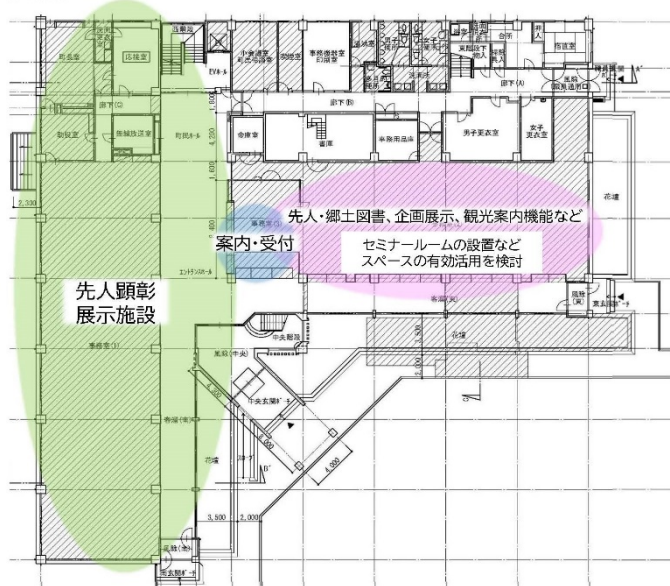
指定管理者制度による管理運営（歴史資料収蔵機能や機械設備部分は市が直接管理を行う。）

3. 地域との協議について

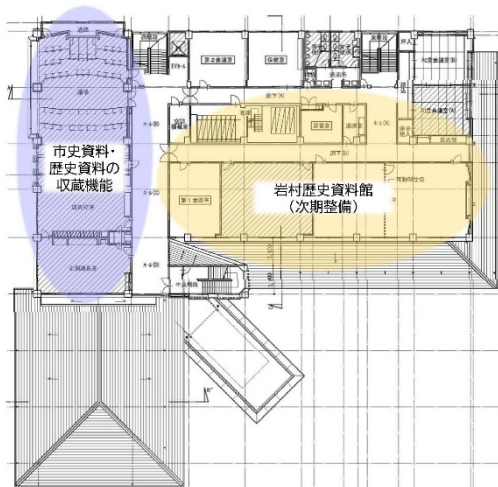
今後も、地域自治体運営協議会や NPO 法人いわむら一斎塾等と、協議・相談・報告を行い、設計や工事、運営準備などに活かしていく。

施設の機能と配置案

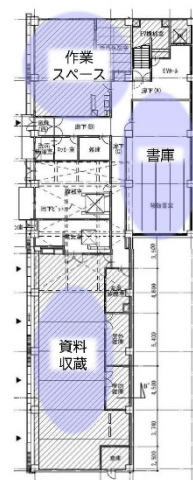
【1階】



【2階】



【地階】



施策全体のイメージ（案）

<長期滞在・体験型のフィールドミュージアム>

歴史・文化が残る本物にふれられるまち
「ゆかしき里いわむら」で、暮らすように学び、旅をする。

ターゲット 欧米圏の質の高い本物志向の層

目的

- ✓インバウンド客の滞在時間の増加を促し、経済効果を最大限に高める。
- ✓地域との交流を通じた住民と観光客の共存を目指す。

インバウンド目線での受入環境整備

英語案内看板整備
→景観に配慮しつつ外国人の困り感を解消

専門家招聘
→インバウンド目線での指摘・各施策への反映

町家・空き家改修
→にぎわい創出/宿泊キャパ拡大

インバウンド向けガイド育成
→ガイドツアーの創出/エリア間の回遊促進

レンタサイクル強化
→富田地区へのアクセス強化

インバウンド向け観光コンテンツ創出・ブラッシュアップ事業
→体験等観光コンテンツの更なる充実

Wi-Fi整備
→※音声ガイド導入と連動/旅のストレス軽減

滞在時間延長を促す取り組み

音声ガイド導入
→エリア間の回遊や資源の理解を促進する

ハード整備

ソフト整備

情報発信

PR事業
(WEB制作・パンフレット制作等)

マーケティング

3 年スケジュール (案)

<ハード事業>

	1年目	2年目	3年目
①市所有町家・空き家の改修	物件概要調査 (※専門家招聘事業)	基本設計	改修
②受入環境整備 (Wi-Fi設置)	事前調査	整備実施	
③受入環境整備 (英語案内サイン 改修整備)	改修箇所調査、計画策定	整備実施 (翻訳含む)	
④レンタサイクル事業強化事業	計画策定	事業実施	

<ソフト事業>

	1年目	2年目	3年目
①専門家招聘	現地視察、計画策定		
②インバウンド向けガイド育成		マニュアル制作・講座実施 (基礎編・実践編)	講座実施 (基礎編・実践編)
③観光コンテンツ創出・ブラッシュアップ事業	計画策定	事業実施 →	
④受入環境整備 (音声ガイドの導入)	計画策定	企画・コンテンツ制作・翻訳 (システム導入)	
⑤観光PR (動画、WEB制作、メディア招聘)	WEB制作・パンフレット改定・翻訳	岐阜県と連携したPR →	
⑥マーケティング強化	アナログ実施	アナログ実施継続+デジタル併用	アナログ+デジタル併用

具体的施策（案）

ハード整備【城下町のにぎわい創出】

No.	施策	説明	実施想定年度
1	市所有町家及び空き家の改修	岩村城下町の市所有町家（木村邸、土佐屋、勝川家、加納家、柴田家のうちのいずれか）について、外国人目線での助言ができる専門家の協力を得て、滞在時間の延長と消費促進を図る新たな活用方法に向けた検討を行い、検討結果に基づき施設改修を実施する。改修後の運営については、地域と協議しながら進める。	令和7年度

具体的施策（案）

ハード整備【インバウンド受入環境整備】

No.	施策	説明	実施想定年度
2	Wi-Fi設置事業	外国人観光客に向けて着地後における情報通信手段の利便性向上や観光情報の効果的な発信を行うため、Wi-Fiが未整備の城跡周辺と富田地区（農村景観）について、実現可能性の調査を行った上で、岩村城下町・岩村城跡・富田地区（農村景観）のWi-Fi環境整備を一体的に行う。観光情報の発信は、ソフト事業としてQRコード等で接続可能な音声ガイド（多言語）を設置することを想定。	令和6年度
3	英語案内サイン改修整備事業	岩村城下町・富田地区（農村景観）の看板について、外国人観光客受け入れを想定し英語を併記する等の改修を行うことで、外国人がスムーズに観光できる環境を整える（必要に応じて新規設置も実施）。英語の表記については、ネイティブによる翻訳・チェックを行う。	令和6年度

具体的施策（案）

ハード整備【富田地区へのアクセス強化】

No.	施策	説明	実施想定年度
4	レンタサイクル強化事業	岩村城下町と富田地区（農村景観）間の周遊を強化するため、既存のいわむらレンタサイクルの拡充補助、もしくは新規にレンタサイクルシステムの導入を実施するとともに周知を図る。	令和6年度

具体的施策（案）

ソフト整備【インバウンド受入環境整備】

No.	施策	説明	実施想定年度
1	専門家招聘事業	外国人観光客へ向けたプロモーションを想定し、ターゲットに刺さる岩村のコンテンツや打ち出すべきポイントについてネイティブの専門家による助言を受け、今後の事業へ反映させる。	令和5年度
2	インバウンド向けガイド育成事業	インバウンド向けのガイド研修を複数回実施するとともに1の専門家意見を参考とし、インバウンド向けのガイドマニュアルを制作。研修の対象者は、市内外問わず広く募集を行うとともに恵那市独自のガイド認定制度の導入も検討する。	令和6年度
3	インバウンド向け観光コンテンツ創出・ブラッシュアップ事業	インバウンドを主なターゲットとして実施する体験コンテンツ・ツアーの創出や既存の体験コンテンツ（いわむら五っこ等）のブラッシュアップについて補助を行う。	令和6年度 ～令和7年度

具体的施策（案）

ソフト整備【インバウンド受入環境整備】

No.	施策	説明	実施想定年度
4	音声ガイド導入事業	域内に点在する文化財の価値や見どころを伝え、域内周遊を促すため、岩村城跡・岩村城下町・富田地区の音声ガイド（多言語）の整備・周知を行う。美術館のように鑑賞（観光）ルート設定することなどを想定。また、多言語解説はネイティブ翻訳・チェックを行う。	令和6年度 ～令和7年度

具体的施策（案）

ソフト整備【PR・マーケティング】

No.	施策	説明	実施想定年度
5	PR事業（WEBサイト制作、パンフレット制作、動画制作、メディア招聘）	2025年の大阪万博のタイミングでインバウンドに向けたプロモーションを行えるよう、多言語WEBサイト・パンフレットを制作するとともに、メディア招聘・動画制作広告掲出を通して持続可能な観光地としての魅力発信を行う。※岐阜県と連携しつつ実施 なお、制作にあたっては、外国人に歴史・文化的な魅力を分かりやすく伝えるため、日本語解説からの翻訳ではなく、現地取材等を通して、英語ネイティブライターによる1からの解説執筆を行う。	令和5年度 ～令和7年度
6	マーケティング強化	当該エリアに訪れる来訪者アンケートや宿泊施設への調査を通して現状把握を適切に行い、岐阜県の協力を得て、GoogleMAPを活用したデジタルマーケティングの手法を学びオフラインとオンライン双方からの現状把握を目指すとともに、データに基づく施策立案を行う。	令和5年度 ～令和7年度